

お知らせ

済生会松山病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。

その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用することをご了解いただけ

ない方は、下記の【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】

パーキンソン病患者における BADS 成績傾向についての後ろ向き研究

【研究機関】 済生会松山病院 脳神経内科（パーキンソン病センター）

【研究責任者】 福島（八杉）美奈（言語聴覚士・臨床神経心理士）

矢部勇人（脳神経内科 主任部長）

宮上紀之（愛媛大学医学部附属病院 臨床薬理神経内科 准教授）

【研究の目的】

過去に当科にて短期入院した患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、パーキンソン病の病態をさらに深く分析することを目的としたものです。

今後の皆様の診療にも役立てることができると考えています。

【研究の方法】

対象となる患者さん：2011年1月1日から2019年12月31日までの間、今後の治療方針検討目的で短期入院したパーキンソン病患者さん

利用するカルテ情報：性別、年齢、受診の目的、認知機能評価（MMSE）の結果、BAD S（Behavioral Assessment of the Dysexecutive Syndrome 遂行機能障害症候群の行動評価 日本版）の結果、診断名、重症度、罹病期間

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を取り除いて匿名化したし

ます。個人を特定できる情報が外に漏れることはありません。

また、研究結果は学術雑誌等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【お問い合わせ先】

福島（八杉）美奈 矢部勇人 宮上紀之

済生会松山病院 脳神経内科（パーキンソン病センター）・リハビリテーションセンター

連絡先：089-951-6111